



TITLE:

細長型ココヤシの和歌山県白浜町 への漂着追加記録

AUTHOR(S):

檜山, 嘉郎; 久保田, 信

CITATION:

檜山, 嘉郎 ...[et al]. 細長型ココヤシの和歌山県白浜町への漂着追加記録
. 漂着物学会会報 2006, 16: 7-7

ISSUE DATE:

2006-03-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179155>

RIGHT:

© 2006 漂着物学会

細長型ココヤシの和歌山県白浜町への漂着追加記録

Additional record of a slender type of *Cocos nucifera* washed ashore at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

樫山 嘉郎(和歌山県西牟婁郡白浜町堅田1143)

久保田 信(京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

和歌山県白浜町の番所崎の磯浜には、南方より黒潮に運ばれて漂着した細長型のココヤシ *Cocos nucifera* L. の果実が、過去15年間にたった3個だけ記録されている(樫山ほか、2003)。今回この型の4個目が流れ着き、計測の結果、本果実が最も細長いものとなったので報告する。

漂着場所:和歌山県西牟婁郡白浜町中、通称“富田浜”

発見年月日:2005年9月15日午前中

大きさと形状など:全体が均一に細長く、3稜が明瞭(図1, 2)。最大長250mm、最小幅75mm、最大幅105mm。外果皮は光沢があるこげ茶色で新鮮だったが、一部がはげかかっていた。表面に付着生物もその付着跡もまったく見られない。重量1219g。

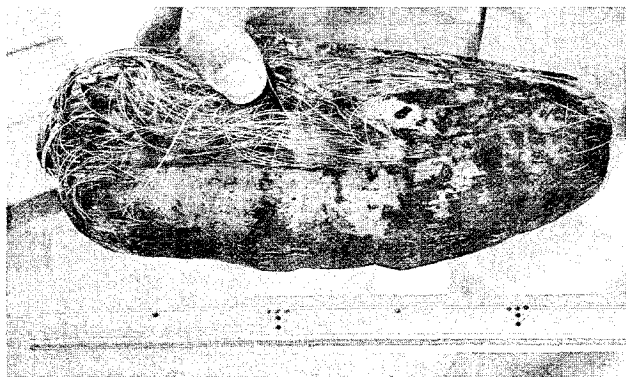


図.1

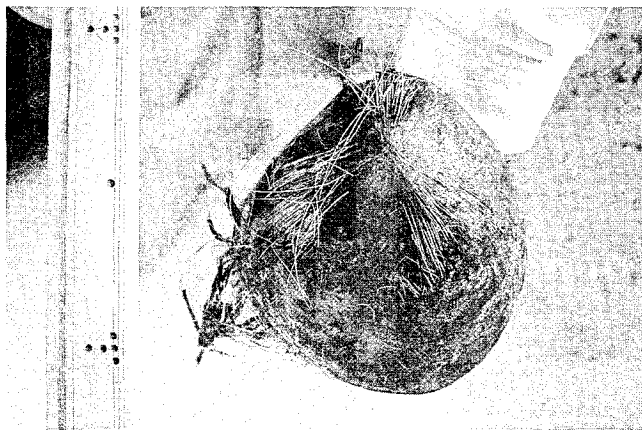


図.2

(注記) 本果実は、最小幅が最も狭い果実となった。最大幅と最少幅の差がわずか30mmで、これまでに白浜町へ漂着した3個の最小幅が105-115mmなので(樫山ほか、2003)それらより狭く、かつ32-40mm長かった。また、本果実は沖縄県西表島に漂着した細長型

(久保田・梅本、2004)よりも長くて幅も狭い。従って、わが国で報告された細長型では最も細長い果実となる。

Summary. A fourth specimen of a slender type of coconut fruit, *Cocos nucifera*, was found washed ashore at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan, on 15 September 2005. It is the most slender one yet recorded in Japan.

(引用文献)

樫山嘉郎・久保田信・戸部博・中西弘樹. 1999. 変わった型のココヤシの和歌山県白浜町への漂着記録. 漂着物学会誌, 1: 29-30.

久保田信・梅本信也. 2004. 沖縄県西表島における細長型ココヤシ果実の漂着. 漂着物学会会報, (10): 3.

樫山・久保田: 図の説明

Figs. 1, 2. Side and top views of a slender coconut fruit, *Cocos nucifera*, washed ashore at Shirahama, Wakayama Prefecture.